

※「S-NET」は高等教育コンソーシアム信州の通称です。「S」は Shinshu・Self-Study・Share・Scale・Social を表し、「NET」は情報通信・教職員・学生間のネットワークを表します。

## 遠隔講義システムを利用した高等教育コンソーシアム信州加盟大学「大学祭実行委員会」合同交流会開催

高等教育コンソーシアム信州加盟大学の大学祭実行委員が昨年度より合同で交流会を開催し、その結果として長野県北部地震の被災地である栄村の復興を支援するため募金活動を行いました。

### 交流会開催の経緯

高等教育コンソーシアム信州では、遠隔講義システムを使用し、ネットワーク配信授業を行っています。そのシステムを授業以外でも活用できないかという思いがありました。そのような中、学生主催で行う活動でも積極的に利用していこうという考えから、諏訪東京理科大学の大学祭実行委員会からの提案で、遠隔講義システムを使用した、高等教育コンソーシアム信州加盟大学の大学祭実行委員会の交流会が始まりました。



遠隔講義システムを利用して意見交換を行う学生（信州大学松本キャンパス会場の様子）

### 平成24年度の活動内容

高等教育コンソーシアム信州加盟の大学（信州大学、長野県看護大学、佐久大学、諏訪東京理科大学、清泉女学院大学、長野大学、松本大学（すでに学園祭が終了していた松本歯科大学を除く）の大学祭実行委員会の学生から、各大学合同で何か企画できないかとの意見があがり、検討の結果、各大学の大学祭で募金を行い、長野県北部地震の被災地である栄村の復興を支援することとなりました。

募金活動で集まった募金（募金総額 375,716 円）は、12月21日（金）栄村役場にて高等教育コンソーシアム信州加盟大学の大学祭実行委員会から島田村長に直接手渡されました。



募金活動応援キャラクター「信州ぼきんちゃん」



募金受け渡しの様子

## 連続講演会「発達障害のある学生のための支援」第2回～第4回開催報告

6月22日(金)

### 第2回「発達障害のある大学生の立場から」

第2回は笹森理絵さんをゲスト講師にお迎えしました。笹森さんは、発達障害の診断があり、大学卒業後、結婚、子育てを経験、資格取得のために再度大学を卒業し、現在は就労支援員・精神保健福祉士として活動されています。大学生活や日常生活で困ったことなどを、ご自身の体験談をもとに写真や動画を使いながらわかりやすくお話いただき、望まれる支援のあり方についてご講演いただきました。



6月22日 連続講演会第2回の様子  
(信州大学松本キャンパス)

10月3日(水)

### 第3回「卒業後に向けた支援-就職支援、進路支援」

第3回は、第1回でも講師を務めた信州大学教育学部教授の高橋知音先生より、「卒業させる支援」ではなく「卒業後の自立」を見据えた「次につなぐ支援」のあり方について、利用可能な専門機関・制度の紹介を交え、ご講演いただきました。



10月3日 連続講演会第3回の様子  
(信州大学松本キャンパス)

10月31日(水)

### 第4回「大学として何ができるか、どこまでやるべきか」

連続講演会最終回となる第4回は、信州大学教育学部教授の高橋知音先生より、発達障害のある学生への支援について、大学としてやらなければならないこと、できること、できないことについて、高校での支援との違いも踏まえてご講演いただきました。また、後半は第1回～第3回講演会のアンケートで参加者から寄せられた質問について、具体例を挙げて回答いただきました。終了後のアンケートでは、「Q&Aの具体的事例が参考になった」という声が多数ありました。



10月31日 連続講演会第4回の様子  
(信州大学教育学部)

この連続講演会は、メイン会場の信州大学教育学部(第3回、第4回)松本キャンパス(第2回)から、遠隔講義システムを用いて県内6大学9会場余りにリアルタイム配信され、のべ300人余りの方が聴講しました。加盟大学の教職員に限らず、県内の教育関係者や一般市民など、外部聴講者を含む聴講者があり、発達障害への関心の高さがうかがえました。当日の様子は本コンソーシアムWebサイト(<http://www.c-snet.jp/>)にて配信中ですのでぜひご覧ください。

## 発達障害のある学生への支援研修会「文部科学省の報告書と支援の実際」開催報告

3月18日(月)には、信州大学教育学部教授の高橋知音先生を講師に迎え、発達障害のある学生への支援研修会「文部科学省の報告書と支援の実際」が、遠隔講義システムを使用せず、対面にて行われました。この研修会では、文部科学省において平成24年6月から12月にかけて開催されてきた「障がいのある学生の修学支援に関する検討会」での議論を踏まえ、その概要が紹介されました。また、各大学での実際の事例をもとに、対応についてワークショップ形式での話し合いが行われました。この研修会を聴講した方からは、「他大学と意見交換や情報交換ができてよかった」「グループで話すことができたのはとても有益だった」といった声が聞かれました。



研修会 ワークショップの様子  
(信州大学松本キャンパス)

## 第4回ピア・メンター育成キャンプ開催報告

8月31日(金)、9月1日(土)の2日間、高等教育コンソーシアム加盟6大学から34名(学生21名、教職員13名)が参加し、平成24年度ピア・メンター育成キャンプが開催されました。

ピア・メンター育成キャンプは、学生がより積極的に授業に参加できるよう、グループ学習で教員をサポートし、学生の推進役を務める「学生ピア・メンター」を育成することを目的にしています。さまざまなグループワークや講演を通して、参加者全員がファシリテーションやコミュニケーションについて考え、これらの能力を向上させることはもちろん、学生と教職員、また、大学間の枠を越えた交流ができる、大変良い機会です。

第4回目今回は、「人間としての成長戦略をたてよう」をテーマに、国立信州高遠青少年自然の家(伊那市)で、ポートフォリオづくりや劇の制作・上演を行いました。その後、信州大学農学部(南箕輪村)にて、県内各地から集った高校生18名と一緒に、「仕事」についてのワークショップやグループ発表を行いました。このような高校生との交流は、ピア・メンター育成キャンプとしては初の試みでした。「先輩が先輩に意見を述べやすい環境や接し方を考える良い機会になった」「短い時間の中でコミュニケーションをとりながら楽しく過ごせた」といった感想が聞かれました。



ピア・メンター育成キャンプの様子



ピア・メンター育成キャンプの参加者

## 平成24年度後期、平成25年度前期遠隔授業受講状況について

平成24年度後期、平成25年度前期とも12科目が開講され、平成24年度後期は県内8大学の学生791名（うち単位互換受講者23名）が受講、平成25年度前期は学生746名（うち単位互換受講者56名）が受講しています。遠隔授業では、高等教育コンソーシアム信州の遠隔講義システムを利用して、自大学にいながら県内の他大学の授業を履修することができます。遠隔授業を受講して修得した単位は、長野県内大学単位互換協定に基づき、所属大学の単位として認定されます。

### ■平成24年度後期 遠隔授業受講状況一覧表

(単位：人)

月	授業科目名	担当教員	受講登録者		聴講	合計
			全体	うち単位互換受講者※		
月2	電子出版の現代	鈴木治郎（信州大学）	20	2	0	20
月3	教育学B	早坂淳（長野大学）	34	3	1	35
月5	ドイツ語初級（総合）II	松岡幸司（信州大学）	25	3	1	26
火4	キャリア形成論II-自分の将来像を探るステップ-	赤羽貞幸・霜鳥光（信州大学）	157	0	0	157
水1	数値解析法	木村正弘（諏訪東京理科大学）	65	7	0	65
水2	ミクロ経済学	中平千彦（諏訪東京理科大学）	68	2	1	69
水5	ドイツ語中級（読解）II	松岡幸司（信州大学）	2	0	0	2
木3	食の社会学	福島智子（松本大学）	90	2	0	90
金1	環境文学のすすめ	松岡幸司（信州大学）	50	1	0	50
金2	新聞と私たちの社会（信濃毎日新聞社寄附講義）	分藤大翼（信州大学）	145	2	0	145
金4	キャリア形成論II-自分の将来像を探るステップ-	赤羽貞幸・霜鳥光（信州大学）	120	1	0	120
金5	日本人のための英作文練習ゼミ	加藤鉦三（信州大学）	15	0	1	16
計			791	23	4	795

### ■平成25年度前期 遠隔授業受講状況一覧表

(単位：人)

月	授業科目名	担当教員	受講登録者		聴講	合計
			全体	うち単位互換受講者※		
月1	英語基礎II(たてなおしの英語)	田村亮子（清泉女学院大学）	86	11	13	99
月2	検索の科学	鈴木治郎（信州大学）	76	0	0	76
月3	国際看護学	宮越幸代（長野県看護大学）	10	3	1	11
月5	ドイツ語初級（総合）I	松岡幸司（信州大学）	58	3	0	58
火1	看護研究方法	七田恵子（佐久大学）	86	0	4	90
火4	キャリア形成論I-本当の自分を理解するステップ-	赤羽貞幸（信州大学）	117	1	0	117
水1金3	中国語I	ピラール・イリヤス（長野大学）	38	0	2	40
水5	ドイツ語中級（読解）I	松岡幸司（信州大学）	11	1	1	12
木1	英語基礎I(たてなおしの英語)	田村亮子（清泉女学院大学）	85	11	14	99
木4	物理学の世界	矢部正之（信州大学）	38	8	1	39
金2	観光英語(English for International Exchange)	グレゴリー・パーチ（清泉女学院大学）	30	13	1	31
金4	キャリア形成論I-本当の自分を理解するステップ-	赤羽貞幸（信州大学）	101	2	0	101
-	日本人のための英作文練習ゼミ(e-Learning)	加藤鉦三（信州大学）	10	3	0	10
計			746	56	37	783

※「単位互換受講者」は「受講登録者全体」の内数。

## 第30回 K<sup>3</sup> 茶論「日本学生支援機構平成24年度優秀学生顕彰事業受賞学生発表会」開催報告

1月24日(木)に開催された第30回「K<sup>3</sup>茶論」は、「日本学生支援機構平成24年度優秀学生顕彰事業受賞学生発表会-受賞した長野大学・長野工業高等専門学校による学習成果発表-」で受賞した、以下3名の学生による学習成果の発表が行われました。

学術分野<大賞>受賞 長野大学企業情報学部4年 戸谷 重幸さん  
学術分野<優秀賞>受賞 長野工業高等専門学校生産環境システム専攻2年  
小市 良祐さん



社会貢献分野<奨励賞>受賞 長野大学環境ツーリズム学部4年 高野 光輝さん 1月24日 第30回K<sup>3</sup>茶論の様子(長野大学)

## 第31回 K<sup>3</sup> 茶論「自らの夢の実現に向かって／夢チャレンジャー報告～長野大学～」開催報告



長野大学4年生  
ソスジョンさんの発表の様子

4月17日(水)に開催された第31回「K<sup>3</sup>茶論」では、長野大学が学生の夢実現を応援する「夢チャレンジ制度」のチャレンジャーとして認定された中の6チームの学生たちが、それぞれのプロジェクトの成果と今後への課題を発表しました。

アンケートでは、これらの発表に対し、「学生の研究内容、努力の成果がよくわかった」「今後の学生の努力を期待したい」「自分自身も何か挑戦する意欲が湧いてきた」といった声がありました。

K<sup>3</sup>茶論の様子は本コンソーシアムWebサイト (<http://www.c-snet.jp/>) にて配信中ですのでぜひご覧ください。

## 賛助会員募集のお知らせ

県内高等教育と地域の発展を目指す高等教育コンソーシアム信州を、サポートして下さる会員を募集しています。詳しくは高等教育コンソーシアム信州事務局までお問い合わせください。

■年会費 特別会員(長野県内地方公共団体)、賛助会員(団体・個人)とも、1口1万円、1口以上

### ■会員特典

- ①高等教育コンソーシアム信州公式Webサイトに、会員として社名(団体名・個人名)を掲載させていただきます(リンクを貼ることも可能です)。
- ②高等教育コンソーシアム信州のパンフレットに、会員として社名(団体名・個人名)を掲載させていただきます(ただしパンフレットは年1回発行のため、年度途中で会員になった際は掲載できないことがあります)。
- ③高等教育コンソーシアム信州が主催するフォーラムや講演会の案内をお送りいたします。
- ④「S-NET NEWSLETTER」など高等教育コンソーシアム信州の刊行物をお送りいたします。
- ⑤会員団体の企画を高等教育コンソーシアム信州が後援いたします(書類提出等、手続きがあります)。

## 活動報告・予定

高等教育コンソーシアム信州の最近の主な活動は、次の通りです。

- 平成24年 6月22日(金) 連続講演会「発達障害のある学生のための支援」第2回-発達障害のある大学生の立場から-開催
- 平成24年 8月 8日(水) 高等教育コンソーシアム信州英語教育小部会FD  
「Assessing and Motivating Students-成績評価と動機づけを考える」開催
- 平成24年 8月31日(金)・9月1日(土) 「第4回ピア・メンター育成キャンプ」開催
- 平成24年 9月11日(火) 第7回FDフォーラム「「遠隔授業」を始めよう!～前期を振り返り、後期への準備と飛躍の転回へ～」開催
- 平成24年 9月20日(木) 高等教育コンソーシアム信州大学祭実行委員会合同企画  
「AID to SAKAE ～信州の絆を見せよう～」合同記者会見実施
- 平成24年10月 3日(水) 連続講演会「発達障害のある学生のための支援」第3回-卒業後に向けた支援-就職支援、進路支援-開催
- 平成24年10月31日(水) 連続講演会「発達障害のある学生のための支援」第4回-大学として何ができるか、どこまでやるべきか-開催
- 平成24年12月21日(金) 高等教育コンソーシアム信州大学祭実行委員会合同企画  
「AID to SAKAE ～信州の絆を見せよう～」における栄村への募金贈呈式開催
- 平成25年 1月24日(木) 第30回K<sup>3</sup>茶論「日本学生支援機構平成24年度優秀学生顕彰事業受賞学生発表会-受賞した長野大学・長野工業高等専門学校の学生による学習成果発表」開催
- 平成25年 3月18日(月) 発達障害のある学生への支援に関する研修会「文部科学省の報告書と支援の実際」開催
- 平成25年 4月17日(水) 第31回K<sup>3</sup>茶論「自らの夢の実現に向かって／夢チャレンジャー報告～長野大学～」開催
- 平成25年 8月 7日(水) 「質的転換答申に関するFD会(正式名未定)」開催予定
- 平成25年 8月30日(金)・31日(土) 「第5回ピア・メンター育成キャンプ」開催予定

**編集後記** 昨年度より学生主催の活動でも高等教育コンソーシアム信州の遠隔講義システムの利用が始まりました。このように教職員だけでなく学生同士のコンソの輪もどんどん広がっていくと嬉しいですね。今後も様々な形で高等教育コンソーシアム信州の活動が広がることを希望しています。

